

令和6年度 小・中学校適正配置に関する意見交換会 開催状況

地区	角館	白岩	生保内	神代	西明寺	桧木内		
会場	角館交流センター	白岩集落会館	田沢湖総合開発センター	就業改善センター	西木総合開発センター	桧木内公民館		
日時	7月9日	7月16日	7月22日	7月8日	7月17日	7月11日	計	
	火	火	月	月	水	木		
	18:30-20:00							
内容	○学校適正配置計画（骨子案）、学校再編（試案）、保護者アンケート結果について・・・教育委員会より説明 ○意見交換テーマ（小グループに分かれて話し合い） みんなが納得できる「よりよい学校再編案」は？							
出席者	中学生までの子どもの保護者	3	4	11	12	13	7	50
	その他	0	0	2	1	0	2	5
	計	3	4	13	13	13	9	55

凡例
 人数・規模
 通学
 校舎

選択肢
 放課後
 財政

地域
 段階統合
 一貫教育

試案		複数地区からの共通意見	角館	白岩	生保内	神代	西明寺	桧木内
A	メリット							・通学の負担が軽い ・既に交流しているから安心 ・校舎の改修必要なし
	期待							通学 人間関係 財政
B	課題							・早い段階で少人数になる ・すぐ再統合問題に直面
	心配							人数・規模 人数・規模
C	メリット	・集団のよさを味わえる(友達、多様性、切磋琢磨) ・通学の負担が軽い ・地域のよさが伝わる				・B案から段階的に始めては	・PTA活動の負担減少 ・部活動がしやすい	・生保内の存続
	期待	人数・規模 通学 地域				段階統合	人数・規模 選択肢	地域
D	課題	・生保内単独だと人数が心配 ・再統合の可能性				・部活が選べるか(中学進学時に角中に転校)		・いじめ ・スクールバスの始発時刻、通学 ・校舎の場所 ・地域の特色が消えそう ・校舎の老朽化・修繕費用
	心配	人数・規模 人数・規模				選択肢		人数・規模 通学 校舎 地域 財政
E	メリット	・集団のよさを味わえる(友達、多様性、切磋琢磨) ・財政的なメリットが大きい ・D案より早めの統合が可能か	・母校が残る可能性(大人にとって)	・魅力的な学校をつくれそう	・在学中の再統合を避けられる ・生保内を中心にしてもよい	・中学生も児童クラブがあればよい	・PTA活動の負担減 ・スクールバスで安全に登下校	・再編後、同規模の2校で交流できる ・チャレンジが増える ・部活動が増やせる
	期待	人数・規模 財政 通学	地域	教育	人数・規模 地域	放課後	人数・規模 通学	人数・規模 選択肢 選択肢
F	課題	・10年後、再統合の可能性 ・通学の負担が大きい ・校舎はどこを活用するのか ・部活の送迎 ・地域の衰退、人口流出	・校舎改修費など財政は大丈夫か		・始業・終業時刻はどうなる ・統合による諸課題の解決(通学負担、過疎化など)	・部活が選べるか(中学進学時に角中に転校) ・神代小は新しいので活用すべき	・再編後、同規模の2校で対立しないか心配 ・段階的な統合は負担が大きい	・学力低下(指導が行き渡らない) ・個性が目立たなくなる ・部活の人数確保 ・いじめ ・児童クラブの存続 ・家庭で一緒に過ごす時間減少
	心配	人数・規模 通学 校舎 放課後 地域	財政		日課 課題解決	選択肢 校舎	人数・規模 段階統合	人数・規模 人数・規模 人数・規模 人数・規模 放課後 放課後
G	メリット	・集団のよさを味わえる(友達、多様性、切磋琢磨) ・適正な規模の確保 ・学校活動の保障 ・部活動など、選択肢増加 ・仙北市全体を「地元」と考え各地区の特徴を学べる		・魅力的な学校をつくれそう	・通学体制によってはD案もあり ・校舎は中間の神代がよい ・新築できれば一番よい ・放課後児童クラブがあれば安心 ・段階的に統合しD案を目指す		・市の負担軽減	・高1ギャップ(人数増)の緩和
	期待	人数・規模 人数・規模 人数・規模 選択肢 地域		教育	通学 校舎 校舎 放課後 段階統合		財政	人数・規模
H	課題	・通学の負担が大きい ・新築だと費用が心配	・角館が移動するのはコストが高い ・公平性を考え市の中央に設置 ・「角館で統合」以外では保護者の理解は難しい	・角館の人達の考え次第(角館から他地区へ移動するか)	・いじめ ・スポ少のお迎えが大変 ・校舎が角館だと、急なお迎えはすぐに行けない		・小規模園からの入学が心配 ・校舎の場所が問題になる ・9年間同じ仲間で過ごし、高校で知らない人となじめるか	・家庭で一緒に過ごす時間減少
	心配	通学 財政	通学 通学 校舎 校舎	角館	人数・規模 放課後 通学		人数・規模 校舎 人間関係	放課後
その他			・中高一貫校にする ・小中が一緒に使える学校を ・地域の人も使える施設にする	・市の考えを示してほしい	・町づくりをどう考えるか	・市が具体案を出せば本気になる ・財政状況を考えて方針を出すべき ・学校の設置場所を先に考えるべき ・市の人口減少対策は	・新校舎の周りをニュータウン化	一貫教育 一貫教育 地域 具体案 具体案 校舎 政策